



# 都島だより

発行責任者

都島クラブ代表(E36)  
竹村 繁幸

一般社団法人浪速工業会  
都島クラブ会報 2026年(令和8年)2月 第70号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056  
横浜市中南区野庭町696-6  
TEL045-841-8885  
E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28(故)岡田宏三氏

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計 347 名

◆M・機械 65 名、ME・機械電気 22 名◆A・建築 64 名◆E・電気・電子工学 114 名◆C・土木・都市工学 25 名◆CI・工業化学・理数 41 名◆L・普通 9 名◆工専 7 名

●日時 2026年5月30日(土) 13時から15時

●場所 四川名菜 川府(センフウ)【旧店名】敦煌

東京都中央区銀座 2-6-9

Ginza269ビル 7F

TEL 050-5570-6005

●会費 8,000 円(女性会員は 5,000 円)

新規卒業の会員は無料!

●申込 Eメールにて4月30日までに事務局まで  
お申込み下さい。

Eメール: har1942umae@iris.ocn.ne.jp

## 一般社団法人浪速工業会・都島クラブ年次報告会



「Ginza269」のロゴが目印

入口



地下鉄有楽町線 銀座一丁目駅 8番出口 徒歩2分  
地下鉄 銀座線 A13番出口 徒歩3分

### 都島クラブ事務局より

一般社団法人浪速工業会・都島クラブの会員の皆様には、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、本年も「都島クラブ年次報告会」の時期となりました。

今年度も昨年同様の場所で、上記内容にて開催させていただくことと致しましたので、皆様どうか奮ってご参加ください。

お申し込み・問合せ 事務局 馬江まで。

Eメール: har1942umae@iris.ocn.ne.jp



昨年の様子

### ドローン体験会に参加して

Eq06 馬江 治喜

昨年の幹事会においてA57年卒・中谷卓司さんのドローン体験会を都島クラブの行事で開催しては如何ですかという御提案を頂き、昨年8月発行のMニュース67号に案内文を記載しましたが、当日天候不良で中止となり、今年2年越しの念願が通じ3回目の正直と言う事で、11月8日にやっと開催する事が出来ました。

当日JR大船駅に集合してタクシィで高い丘を登り切ったところが会場、雲が所々出ていたが、風もなく絶好のドローン運転日和でした。素人がドローン運転をするにはドローン運転資格者(国家試験の指導を受けながら指定された場所内で運転体験をしました)。

我々が使用する機体は、持ち運びが楽なように携帯ボックスに折りたたんでいて、それを組み立てて実際持ってみると軽く、昔内燃エンジンのついた飛行機の事を思う



と、本当に今にも壊れそうに感じたが、実際は結構強度があると言う事でした。

操作レバー(専門語ではプロポと言ふ)を操作して運転をしたが、先ず機体を上昇させるが、慣れていないため急上昇をしてびっくりしてプロポより手を離すとその場で止まり、気が落ち着くと又プロポを操作して無事指定場所に着陸できるとホッとした気分になりました。しかしドローンの利用区域は広く、これからは多に利用価値が出てくると思います。ただ官庁の縄張り意識が出てくると世界より遅れてしまうと思います。

夕方大船駅前へ出て参加者全員で懇親会をして解散となりました。中谷さんには本当に貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

参加者A57中谷さん、E35佐野さん、E35田中さん、E36笹治さん、M40松本さん、M42前田さん、E36馬江、計7名

第10回MMSに参加して

A57 信原 利行

2025年11月29日(土) 15時より有楽町電気ビル南館地下1階にある神戸大学東京六甲クラブにて10回目となるMMS(都島クラブ・ミーティング・サロンの略)が開催されました。今回の講師

はA57卒の中谷卓司氏でタイトルは「AI・ドローン技術について」でした。私と中谷氏とは建築科57年卒の同級生であり、中谷氏は硬式野球部にて3年間野球に打ち込んでおられました。卒業後は建設関係の企業に就職をされましたが、その後は大阪のIT関係の会社へ転職され、さらに東京へ転勤となり都島クラブの活動にも参加され、現在は独立して自身のIT関係の会社「株式会社エッジファースト」を設立されて代表取締役社長に就任されています。MMSでの講義の内容は会社の事業でもあるAIの関する今後の展開や中谷氏も取得されているドローンの操縦免許や許可関係の話を中心にスライドを交えて判り易く説明していただき勉強になりました。MMS終了後は近くのお店で懇親会が開催され懐かしい都工での話題に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。



麗しの島・台湾 第8回

A27 田中 瑛也

故宮博物院 「天下為公」との額がかかる門をくぐり、世界四大博物館の一つに数えられ



ている故宮博物院 宋、元、明、清の四王朝の宝物を中心に多大なコレクションを誇る故宮博物院の所蔵品は、国共内戦の際に国民党府軍が、共産党軍に逐われて台湾に逃避する時に、蒋介石の指示でこの台湾に運び込んだ。それらの所蔵品は、1965年に台北に設けられた故宮博物院で公開展示されるようになった。青銅器(周の時代)、書画(王羲之、陶磁器(唐の三彩陶器)、玉器、彫刻、珍玩多宝格(皇帝の愛した玩具類)等陳列された館内では、台湾の人々に混じり日本からの修学旅行の高校生の姿も見られる。この院に收藏された美術品の品数、65万5000点、展示されている品数10000~12000点と聞くが、現在北京の故宮に保管されている品数より勝ると云われる。北京、西安、南京等の地を經由して戦渦の中でこの台湾へよくぞや多大な宝物を持ち来たったか、中国共産党、中華人民共和国でなく、中華民国、国民政府を唯一の正当政府である蒋介石を主席とする確乎たる信念が、為した成果である。しかし今後台湾人のナショナリズムの昂揚で、中国



という国家の名を捨て、台湾という国家で世界を渉る時、この中国の名を背負った重い歴史を担えるか甚だ余談を許さぬ問題を提起する。故宮博物院の美術品はその予測を暗示する。

陶芸会に参加して

A47 西口 勝臣

10月4日(土)、A科46年卒・柚木寿雄先輩陶芸家の「くにたち自遊工房」にて、毎年恒例の陶芸制作体験会が開催されました。その後駅近くで懇親会。皆様どうか気軽にご参加ください。



計報

- C33 武田 久幸 2025年8月4日
  - E32 浜田 芳之 2025年6月初旬
  - E29 岩崎 亮平 2025年5月5日
  - M26 玉城 元市郎 2025年12月24日
  - E20 真鍋 静夫 2025年12月17日
- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは令和8年8月の発行予定です

皆様からの原稿をお待ちしています。事務局までお送りください。